

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 ケル株式会社
 コード番号 6919 URL <http://www.kel.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 和良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 矢ヶ崎 晶夫
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

TEL 042-374-5810

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,832	—	121	—	137	—	△41	—
20年3月期第3四半期	6,418	△5.5	401	△49.2	410	△49.4	224	△46.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△2.83	—
20年3月期第3四半期	14.99	14.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	10,767	8,081	75.1	546.67
20年3月期	11,455	8,333	72.7	563.59

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 8,081百万円 20年3月期 8,333百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,410	△13.6	5	△98.9	12	△97.4	△248	—	△16.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページに【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、3ページに【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 15,486,000株 20年3月期 16,086,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 703,145株 20年3月期 1,299,506株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 14,784,396株 20年3月期第3四半期 14,961,182株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 本資料の開示と同時に「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「平成21年3月期(第47期)配当予想に関するお知らせ」を開示しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融危機がもたらした世界同時不況による輸出の不振、雇用環境の悪化に伴う消費の低迷など厳しい経済状況のうちに推移いたしました。

当社グループをとりまくエレクトロニクス業界におきましては、急激な円高と世界同時不況による輸出の急減、企業業績不振による設備需要の冷え込み、雇用不安による買い控えに加え、一部原材料価格の高止まりは引き続き厳しい経営環境のなかで推移しました。

このような環境の下、当社グループは、比較的堅調さを取り戻した遊技機器市場や今後有望と見込まれる車載機器市場、画像機器市場を中心に営業活動の強化、及び製造コスト削減活動を推し進める一方で新たな市場開拓のため、基板間接続のスタックや垂直タイプに続く基板間完全水平接続タイプの0.635mmピッチ2ピースコネクタ、多様な機器構造への対応として0.5mmピッチフローティングコネクタスタックタイプの品種追加等を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億32百万円、経常利益は1億37百万円となりました。しかしながら、投資有価証券評価損72百万円並びに、繰延税金資産の回収可能性を検討し繰延税金資産を取り崩したことによる法人税等調整額96百万円等により、四半期純損失は41百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ6億87百万円減少し、107億67百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少額2億19百万円、有形固定資産の減少額1億79百万円、投資有価証券の減少額98百万円並びに原材料及び貯蔵品の減少額97百万円があったこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億35百万円減少し、26億85百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少額1億49百万円、賞与引当金の減少額1億2百万円並びに短期借入金の減少額50百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少し、80億81百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、2.4ポイント上昇し、75.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には9億77百万円となりました。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は8億66百万円となりました。これは、仕入債務の減少額1億22百万円及び法人税等の支払額1億3百万円があったものの、減価償却費6億21百万円及び税金等調整前四半期純利益73百万円の計上並びに売上債権の減少額2億17百万円及び棚卸資産の減少額1億80百万円があったこと等によるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は6億56百万円となりました。これは、投資有価証券の売却による収入99百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出5億79百万円及び投資有価証券の取得による支出1億86百万円があったこと等によるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億69百万円となりました。これは、配当金の支払額1億14百万円及び短期借入金の減少額50百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月30日に公表いたしました「通期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)」を下回る見通しとなったため、これを修正しております。

詳細は、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末決算に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ6,818千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、12,847千円減少しております。

③ 当第3四半期連結会計期間における税金費用については、従来、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しておりましたが、税金費用をより合理的に配分するために、当第3四半期連結会計期間より原則法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,374	952,642
受取手形及び売掛金	3,076,037	3,295,892
商品及び製品	312,666	370,301
仕掛品	28,539	55,698
原材料及び貯蔵品	362,389	459,691
その他	292,639	288,375
貸倒引当金	3,193	3,453
流動資産合計	5,046,454	5,419,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,178,263	1,220,001
機械装置及び運搬具(純額)	1,551,055	1,533,692
工具、器具及び備品(純額)	416,972	572,428
土地	730,774	730,774
有形固定資産合計	3,877,065	4,056,895
無形固定資産	65,916	73,819
投資その他の資産		
投資有価証券	573,868	672,121
その他	1,204,031	1,233,115
投資その他の資産合計	1,777,899	1,905,237
固定資産合計	5,720,881	6,035,952
繰延資産	25	166
資産合計	10,767,360	11,455,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,257,136	1,406,402
短期借入金	550,000	600,000
未払法人税等	-	46,542
賞与引当金	55,676	158,613
その他	266,295	362,562
流動負債合計	2,129,108	2,574,120
固定負債		
社債	300,000	300,000
退職給付引当金	176,865	160,265
その他	79,978	87,328
固定負債合計	556,844	547,593
負債合計	2,685,952	3,121,714

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,000	1,617,000
資本剰余金	1,440,058	1,457,008
利益剰余金	5,235,775	5,519,292
自己株式	164,212	303,717
株主資本合計	8,128,621	8,289,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,646	44,154
為替換算調整勘定	13,566	185
評価・換算差額等合計	47,212	43,969
純資産合計	8,081,408	8,333,552
負債純資産合計	10,767,360	11,455,267

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	5,832,145
売上原価	4,673,630
売上総利益	1,158,514
販売費及び一般管理費	1,037,419
営業利益	121,095
営業外収益	
受取利息	1,533
受取配当金	16,879
為替差益	4,888
その他	9,151
営業外収益合計	32,453
営業外費用	
支払利息	10,223
支払手数料	4,893
その他	672
営業外費用合計	15,789
経常利益	137,759
特別利益	
貸倒引当金戻入額	260
投資有価証券売却益	35,315
特別利益合計	35,576
特別損失	
固定資産売却損	708
固定資産除却損	2,783
たな卸資産評価損	6,028
投資有価証券評価損	72,616
関係会社株式評価損	17,972
特別損失合計	100,110
税金等調整前四半期純利益	73,225
法人税、住民税及び事業税	18,198
法人税等調整額	96,986
法人税等合計	115,185
四半期純損失 ()	41,959

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	73,225
減価償却費	621,821
貸倒引当金の増減額(は減少)	260
賞与引当金の増減額(は減少)	102,880
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,600
受取利息及び受取配当金	18,413
支払利息	10,223
支払手数料	4,893
為替差損益(は益)	5,674
固定資産売却損益(は益)	708
固定資産除却損	2,783
投資有価証券売却損益(は益)	35,315
投資有価証券評価損益(は益)	72,616
関係会社株式評価損	17,972
売上債権の増減額(は増加)	217,189
たな卸資産の増減額(は増加)	180,672
仕入債務の増減額(は減少)	122,944
その他	14,408
小計	958,975
利息及び配当金の受取額	18,807
利息の支払額	8,287
法人税等の支払額	103,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	866,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	579,397
有形固定資産の売却による収入	1,500
投資有価証券の取得による支出	186,435
投資有価証券の売却による収入	99,138
貸付けによる支出	350
貸付金の回収による収入	6,162
保険積立金の積立による支出	73,120
保険積立金の払戻による収入	76,891
その他	1,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	656,644

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	50,000
自己株式の取得による支出	721
配当金の支払額	114,088
その他	4,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	169,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,303
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	24,731
現金及び現金同等物の期首残高	952,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	977,374

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社グループは、コネクタの専門メーカーとして、同一のセグメントに属するコネクタの製造・販売を行っており、当該事業以外の事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高及び資産の金額の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年9月4日開催の取締役会において会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、平成20年9月19日に発行済株式総数は600,000株減少し、15,486,000株となりました。この結果、第2四半期連結会計期間において、資本剰余金が16,950千円、利益剰余金が123,276千円、自己株式が140,226千円減少し、第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,440,058千円、利益剰余金が5,399,091千円、自己株式が164,087千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等
(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	6,418,900
II 売上原価	4,854,228
売上総利益	1,564,672
III 販売費及び一般管理費	1,163,002
営業利益	401,669
IV 営業外収益	27,166
V 営業外費用	18,541
経常利益	410,294
VI 特別利益	297
VII 特別損失	12,379
税金等調整前四半期純利益	398,213
法人税等	173,946
四半期純利益	224,267